

東京都立入試 26年分の漢字 読み① ~R5

1	麦の穂が真っすぐに[伸]びる。	の
2	桜の植えられた[河畔]の堤を歩く。	かはん
3	帰宅して上着をハンガーに[掛]ける。	か
4	[慕]っている先輩に感謝の手紙を書く。	した
5	[狩猟]に用いられた矢じりの石質を調査する。	しゅりょう
6	郷土資料館の学芸員から話を[伺]い、町の歴史を学ぶ。	うかが
7	麦茶を冷やすために氷を[砕]いてグラスに入れる。	くだ
8	地道な清掃活動が周囲に良い[影響]を及ぼす。	えいきょう
9	入念な準備により、会議が[円滑]に進む。	えんかつ
10	産業遺産を観光バスで[巡]る。	めぐ
11	寒い冬の夜空に星が[輝]く。	かがや
12	共通の友人を[介]して知り合う。	かい
13	[傾斜]が急な山道をゆっくり上る。	けいしゃ
14	紅葉で赤く染まる山並を写真に[撮]る。	と
15	真夏の[乾]いたアスファルトが急な雨でぬれる。	かわ
16	展望台から大海原を[眺]める。	なが
17	学校の図書館で借りた本を[返却]する。	へんきゃく
18	柔道の大会に出場するために[鍛錬]を重ねる。	たんれん
19	小学校の恩師に心を込めて[丁寧]に礼状を書く。	ていねい
20	鑑賞教室終了後、オーケストラの美しい演奏の余韻に[浸]る。	ひた
21	役者の真に迫った演技が[喝采]を浴びる。	かっさい
22	教室から[朗]らかな笑い声が聞こえた。	ほが
23	新緑の[渓谷]を眺めながら川下りを楽しむ。	けいこく
24	キンモクセイの香りが[漂]う公園を散策する	ただよ
25	著名な画家の生誕を記念する展覧会が[催]された。	もよお
26	洋服のほころびを[繕]う。	つくろ
27	日本の伝統的な[舞踊]を鑑賞する。	ぶよう
28	午前の列車には[若干]の空席がある。	じゃっかん
29	善戦するも一点差で[惜敗]し、優勝を逃す。	せきはい
30	忙しさに[紛]れて、弟に頼まれた用事を忘れる。	まぎ
31	赤ん坊の[屈託]のない笑顔に心が和む。	くったく
32	垣根を[隔]てて、梅の香が漂ってくる。	へだ
33	体操選手の見事な[跳躍]に歓声が上がる。	ちょうやく
34	インターネットで[貨幣]の歴史について調べる。	かへい
35	誕生日に買ってもらった新しいコートに[袖]を通す。	そで
36	額の汗を[拭]いながら、山道を歩く。	ぬぐ
37	氷上の[華麗]な舞に拍手が沸き起こる。	かれい
38	木陰のベンチで[憩]いのひとときを過ごす。	いこ
39	街を[循環]するバスが新緑の並木道を走る。	じゅんかん
40	プランターで[栽培]したトマトが赤く色づく。	さいばい
41	農業を[営]む祖父から季節の野菜が届く。	いとな
42	絵はがきに写った世界遺産の街並に[憧]れる。	あこが
43	[港湾]で働く人々の仕事を調べ、授業で発表する。	こうわん
44	学級の団結に向けた目標を掲げ、運動会に[臨]む。	のぞ
45	雄大な風景を生んだ自然の力に、[畏怖]の念を抱く。	いふ
46	郷土芸能を[鑑賞]する。	かんしょう
47	講師の博学ぶりに[驚嘆]する。	きょうたん
48	旅行先で、その土地の[銘菓]を買う。	めいか
49	体操選手の[鮮]やかな演技に魅了される。	あざ
50	木枯らしが吹いて、日ごとに寒さが[募]る。	つの

東京都立入試 26年分の漢字 読み②

1	棚に[陳列]された商品を手にする。	ちんれつ
2	弁論大会の入賞者に記念品が[贈呈]される。	ぞうてい
3	在校生か[襟]を正して卒業生代表の話を聞く。	えり
4	校庭から、子供たちの[弾]んだ声が聞こえてくる。	はず
5	災害発生時に[迅速]な行動が取れるよう訓練を行う。	じんそく
6	白球が青空に[弧]を描いて飛ぶ。	こ
7	恩師を[慕]って教え子が集まる。	した
8	キンモクセイの花が[芳香]を放つ。	ほうこう
9	論文の作成に腰を[据]えて取り組む。	す
10	[狩猟]に用いられた石器について調べる。	しゅりょう
11	新入生を部活動に[勧誘]する。	かんゆう
12	飛行機の[両翼]が銀色に輝く。	りょうよく
13	選手宣誓の大役を[謹]んで受ける。	つつし
14	久しぶりの雨が、乾いた畑を[潤]す。	うるお
15	芸術鑑賞教室で、邦楽の[典雅]な調べを味わう。	てんが
16	文章を読んで、要点を[把握]する。	はあく
17	年賀状に、近況を知らせる一言を[添]える。	そ
18	やかんの水が[沸騰]して、ふたが音を立てる。	ふっとう
19	[宵]の口から、花火大会の会場に大勢の人が集まる。	よい
20	学校生活を[顧]みて、文集の原稿を書く。	かえり
21	山頂から朝日に輝く雲海を[眺]める。	なが
22	他校の生徒会役員を招いて[懇談]する。	こんだん
23	展覧会に出品した絵を先生に[褒]められる。	ほ
24	氷上の[華麗]な舞いに、観客の拍手が起こる。	かれない
25	入学式を前に、新しい制服をハンガーに[掛]ける。	か
26	恵みの雨が[乾]いた大地を潤す。	かわ
27	[花壇]に咲くバラがほのかに香る。	かだん
28	校庭の芝生で[憩]いのひと時を過ごす。	いこ
29	バスの[車窓]から雪をいただく山々を望む。	しゃそう
30	厳しい練習に耐えて勝利の[栄冠]を手にする。	えいかん
31	友人の助言を[謙虚]に聴く。	けんきょ
32	冬の夜空に満天の星が[輝]く。	かがや
33	入学の記念にクラス写真を[撮影]する。	さつえい
34	高原の静かな[湖畔]でひと夏を過ごす。	こはん
35	青々とした麦の穂がまっすぐに[伸]びる。	の
36	教室の床を[磨]いて、新入生を迎える。	みが
37	心を込めて[栽培]したトマトが赤く色づく。	さいばい
38	地域を[循環]するバスが満開の桜並木を走る。	じゅんかん
39	初夏の風に吹かれて、木々の青葉が[揺]れる。	ゆ
40	日ごろからの[鍛錬]の成果が試合で発揮される。	たんれん
41	紅葉が山を[彩]る。	いろど
42	[渓谷]にかかるつり橋を渡る。	けいこく
43	絵画展に[秀逸]な作品が並ぶ。	しゅういつ
44	激しい雨を[伴]った風が吹く。	ともな
45	海外旅行のために、旅券の発行を[申請]する。	しんせい
46	白鳥の群が湖で[越冬]する。	えっとう
47	一点差で[惜敗]し、決勝進出を逃す。	せきはい
48	港に[停泊]している帆船を写生する。	ていはく
49	観光バスに乗って、名所旧跡を[巡]る。	めぐ
50	アルバムを見ながら、なつかしい思い出に[浸]る。	ひた

東京都立入試 26年分の漢字 読み③

1	ゴールに向かって、全力で[駆]ける。	か
2	修学旅行先で、地域に伝わる[舞踊]を鑑賞する。	ぶよう
3	夜空を[仰]ぎながら、弟と冬の星座の話をする。	あお
4	歴史的に価値のある[漆器]が博物館に展示される。	しっき
5	合同音楽祭に向けて、合唱部の生徒が[奔走]する。	ほんそう
6	交通規則を[遵守]する。	じゅんしゅ
7	会議が[円滑]に行われる。	えんかつ
8	ボランティアを[募]る。	つの
9	ついに試合の[均衡]が破られた。	きんこう
10	プールの監視員が注意を[促]す。	うなが
11	土器が博物館に[陳列]される。	ちんれつ
12	[華麗]な演技に拍手をおくる。	かれい
13	買い物を[快]く引き受ける。	こころよ
14	[雷鳴]とともに、雨が急に激しくなってきた。	らいめい
15	三年間の学校生活を[顧]みる。	かえり
16	玄関に花を[飾]って、客を迎える。	かざ
17	[返却]された本。	へんきゃく
18	梅の香りがほのかに[漂]ってくる。	ただよ
19	しばらく[休憩]する。	きゅうけい
20	国際会議で議論が[沸騰]する。	ふっとう
21	記録に[挑]んで懸命に泳ぐ。	いど
22	地域の産業に関する資料を[閲覧]する。	えつらん
23	[周到]な用意をして待つ。	しゅうとう
24	留学生から[丁寧]な礼状が届く。	ていねい
25	[朗]らかな話し声が聞こえてくる。	ほが
26	鉱石を[運搬]する船が港に入る。	うんぱん
27	木々の葉が、夏の日差しを[遮]っている。	さえぎ
28	各国の代表が[懇談]する。	こんだん
29	心理を巧に[描写]する。	びょうしゃ
30	忙しさに[紛]れて、妹に頼まれた買い物を忘れる。	まぎ